

No35

義高 互

字や文章を書いたり、絵を描いたりする支援機器として AI、ワープロソフト、ドローソフトを開発してグラフや説明文を入力し、特支学校や特支学級でコンクールに入賞したことがありました。

そのドロソフトのひとつが「うごけらくがき」です。

ももとは中学校特支学級や特支学校中学部向けに開発を始めました。ゴールとして小学部から大人まで、障がいの有無にかかわらず、自由に絵を描いて表現活動で楽しめるように開発しました。

はじめは試作版をグラフコンクルのグラフ作成支援に使用しました。

その後はもっと自由に誰でも絵を描いて表現活動をするという方向で改訂を進めました。またマウスを使用するのが難しい場合には入力機器を独自に開発して活用しました。

私が訪問学級を担当した時は重度重複障害がある
お子さんにも調整して活用できました。

障害があってもなくても描画活動をして活用できました。適切な支援機器などの支援があれば 老若男女や障害の区別無く表現活動が出来ることを実証できました。

この「うごけらくがき」は NTT 社長賞など国内通信企業から賞を受賞だけでなく

文化庁芸術祭ではアカデミー賞受賞のジブリの千と千尋の神隠しやファイナルファンタジーなどとともに受賞して同じステージで高評価されたものもあります。

障害があるから、重度重複があるからではなく、支援が万全であれば同じステージに立てるという例になったと思います。

このうごけらくがきを制作するときに子供が使用したデータを分析して改訂した経緯があります。提示する機会がありましたら提示いたします。

支援のためのアプリ

AI ワープロ **ドローアプリ**

「うごけらくがき」

はじめは教育活動での制作のため

*ゴール

子供から大人まで障がい有無にかかわらず表現活動を楽しめる

※ 販売店・価格 (税別) 全国各店にて販売予定
展示・上映作品 デジタルアート・イベント・グラフィック・部門

【インスタレーション】10会場
 ※ 会場別・作品名・展示期間 (デジタル・インスタレーション)
 ※ 作品により会場や展示方法がインスタレーション作品と異なる場合あり ※ 開

	会場	作品名	展示期間
1	東京国立近代美術館	「東京国立近代美術館」	2019.10.10 - 10.20
2	東京都現代美術館	「東京都現代美術館」	2019.10.10 - 10.20
3	東京都現代美術館	「東京都現代美術館」	2019.10.10 - 10.20
4	東京都現代美術館	「東京都現代美術館」	2019.10.10 - 10.20
5	東京都現代美術館	「東京都現代美術館」	2019.10.10 - 10.20
6	東京都現代美術館	「東京都現代美術館」	2019.10.10 - 10.20
7	東京都現代美術館	「東京都現代美術館」	2019.10.10 - 10.20
8	東京都現代美術館	「東京都現代美術館」	2019.10.10 - 10.20
9	東京都現代美術館	「東京都現代美術館」	2019.10.10 - 10.20
10	東京都現代美術館	「東京都現代美術館」	2019.10.10 - 10.20

[illegible]

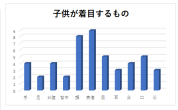
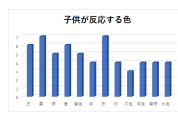
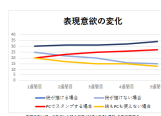
平成 13年度（第5回）文化庁メディア芸術祭
展示・上映作品 アニメーション部門

（制作・中継アニメーション）11月5日
 ・横浜市内に設けられたミニシアターで上映（2部）
 ・横浜（192 画）上映 11部、フジテレビ（全4部）

作品番号	作品名	制作	備考
1	天 宮	千代田美穂	制作・演出・制作総務
2	天 宮	千代田美穂	制作
3	天宮物語	天宮美穂	制作
4	天宮物語	天宮美穂	制作
5	天宮物語	天宮美穂	制作
6	天宮物語	天宮美穂	制作
7	天宮物語	天宮美穂	制作
8	天宮物語	天宮美穂	制作
9	天宮物語	天宮美穂	制作
10	天宮物語	天宮美穂	制作
11	天宮物語	天宮美穂	制作

■ 制作・中継アニメーション（制作・中継アニメーション）

№	題名	所在地	収録
1	徳島県立中央図書館	徳島県立中央図書館	徳島県立中央図書館蔵
2	徳島県立中央図書館	徳島県立中央図書館	徳島県立中央図書館蔵
3	徳島県立中央図書館	徳島県立中央図書館	徳島県立中央図書館蔵
4	徳島県立中央図書館	徳島県立中央図書館	徳島県立中央図書館蔵
5	徳島県立中央図書館	徳島県立中央図書館	徳島県立中央図書館蔵



訪問学級でも活用
—指導案—

訪問学級 自立活動学習指導案
日時 平成17年6月12日
場所 障害児施設最上学園 園庭室
授業者 義高 五
学習者 高等部訪問学級A君

- | | | |
|--------------|--|--------------------|
| 1. 授業名 | 【字をさがそう 字でかいてみよう】 | 高野 昭弘(岡山県立岡山南高等学校) |
| 2. 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・字に意味を持ち、字をヒントと語彙という単語帳をもちかえらせ、とがでずめる。 ・字に響かせる1文字の創作活動で、うしろの語彙が持つ意味がわかることができる。 ・創作活動に満足感を持ち、生活や学習活動につながるることができる。 | |
| 3. 本時 | | |
| (1) 本時の目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく創作活動に取り組める ・文字への関心を深めることができる ・活動に充実感を持つことができる | |
| (2) 教材の目標と評価 | 生徒 | 支援 |

特支学級でコンクール入賞した作品と賞状



生徒たちの成果

特支学校で入賞した生徒達と制作の様子



1. 授業名 「字もさがそう 字でかいてみよう」

2. 目標

- ・字に関心を持ち、字をもっと知ろうという興味関心を持たせることができる。
- ・字を媒体にした創作活動でつくろうという意欲を持たせることができる。
- ・創作活動に満足感を持ち、生活や学習活動につなげることができる。

3. 本時
- (1) 本時の目標
- ・楽しく創作活動に取り組める
 - ・文字への関心を深めることができる
 - ・活動に充実感を持つことができる

創作活動の目標と支援		
生徒	目標	支援
A 君	・楽しく創作活動に取り組める ・文字への関心を深めることができる ・活動に充実感を持つことができる	・本や今までの創作活動を提示して作りたいという意欲を喚起していく ・フレンダーや看板、絵、写真などから字を楽しく探して提示していく ・活動を評価したり、楽しく掲示することによって作る喜びにつなげる

時間	学習の活動	④支援の内容 ⑤評価 ⑥留意点
9:30	字をいじめる活動 健康観察 今日の学習 今日の成果	◎生活場面や面談室に移動して字の習得を意図させる ◎事故がきたら確認する ◎座席したり一緒に寝るなどして言語表出を喚起する ◎発音表出が圧力にならぬよう配慮する ◎マスクを通して表情の表出を促す ◎関連の活動をしたりその見守りや活動をも促せる ◎感情等その日の流れを確認しながら確認する
	本を見て字を探す	◎好きな本を用いる ◎自分の指で指差し等で指差し ◎好きなキャラクターの指差しを選択させる
10:20	水分補給	・パソコンソフトを使い必要な字を書き写すなど確認しておく
10:40	字を選んで絵を描く	・一緒に水分補給して休息とリラックスの場を作る
	できた絵を見よう	◎生徒の希望に従って休息させる ◎自分の書きたい単語を選ばせる ◎誤った字を使えるように誤答を与える ◎適切な使い方や良い例になつたときにはカードを渡す ◎できた絵を見て場所を評価する ◎使った元字を確認する
11:30	終わりの挨拶	・次の時間への期待を持たせて本時を終了する